



深井保健科学研究所 第16回コロキウム

老化と栄養

日程：2017年9月10日（日曜日），10：30 受付 11時～17時

会場：東京国際フォーラム，ガラスホール棟 G610（JR有楽町駅徒歩数分）

懇親会：別会場，17時30分から

主催：深井保健科学研究所

TEL.FAX:048-957-3315, email: fukaik@fihs.org

会費：参加費 5,000 円，学生（大学院生）3,000 円，懇親会費 4,000 円

参加申し込み：fukaik@fihs.org（氏名・所属を記入）

テーマ：老化と栄養

開催主旨：

長寿社会における持続可能な社会保障制度について、団塊の世代が75歳を迎える2025年，そして100歳となる2050年を目指した健康に関する制度改革と健康政策が進んでいる。この中で，NCDs（非感染性疾患）予防およびフレイル予防は，健康施策の柱となっていると共に，個体の老化を踏まえた健康増進は大きな研究課題である。特に栄養に関しては，肥満と低栄養に直結する問題であり，これまでも口腔保健と栄養の関連については，研究成果の蓄積がみられる。しかしながら，この領域における老化という観点を踏まえた研究展開は十分ではない。そこで今回のコロキウムでは，老化・寿命のサイエンスおよびニュートリゲノミックスの動向も踏まえ，最新の疫学研究の知見および実践の成果を基に，老化と栄養・口腔保健について議論を深める。

◆ヘルスサイエンス・ヘルスケア Vol17, No2（2017年12月発行）にシンポジウムの内容は掲載予定

プログラム

11:00 開会

11:00 - 12:50 口腔保健の最新トピックス

1. 大島克郎, 安藤雄一 (日本歯科大学東京短期大学, 国立保健医療科学院) . 「歯科技工士不足」到来の現実性と対応策
2. 野村義明, 花田信弘 (鶴見大学 探索歯学講座) . 歯周病進行分析の再考察
3. 上川克己 (広島県歯科医師会) . 事業所における簡易唾液潜血検査を含めた歯科健診の有効性についての調査
指定発言 : 乾 明成 (弘前保健所) . 青森県における糖尿病と歯周病の認知度と普及開発
4. 竹内研時 (九州大学) . 歯科医療・口腔保健の医療経済分析の展開と課題
5. 岡本悦司 (福知山公立大学) . BW-IMR(出生時体重で補正した乳児死亡率)一周産期医療の新しい医療の質指標の提言
6. 神原正樹 (神原グローバルヘルス研究所) . 口腔疾患・健康状態の新たな評価方法

12:50-13:30 休憩

13:30 - 17:00 シンポジウム 老化と栄養

13:30-13:45 趣旨説明

深井稜博 (深井保健科学研究所) . 高齢社会における健康政策と歯科口腔保健 - 老化と栄養の観点から

13:45-15:00 Part1 (疫学)

1. 安藤雄一 (国立保健医療科学院) . 高齢社会の口腔保健ニーズと咀嚼・栄養
2. 相田 潤 (東北大学) . 口腔保健と要介護状態の予防
3. 岩崎正則 (九州歯科大学) . 高齢者における口腔保健と栄養

15:00 - 16:45 Part2 (実践)

1. 武内博朗 (鶴見大学) . 咀嚼機能回復 - 保健指導から NCDs・フレイル予防を考える
2. 福武元良, 池邊一典 (大阪大学大学院) . 地域高齢者における口腔機能と栄養摂取との関連
3. 枝広あや子 (東京都健康長寿医療センター研究所) . 認知症高齢者の食事指導
4. 小川祐司 (新潟大学, WHO 協力センター) . WHO が目指す高齢者保健

16:45-17:00 総合討議 2017 コロキウム提言「老化と栄養」

17:00 閉会